

学 校 法 人 新 庄 学 園

新 庄 東 高 等 学 校

平成30年度

第2学年

教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって

そして方法を考えて

すべて敬虔な態度で

○普通科 E コース

1. コース目標

難関大学の合格を目指し、大学受験に対応できる学力を養う。
探求活動を通して、幅広い知識を得て、教養を深める

2. 学習目標（第2学年）

各教科の基礎を固め、応用問題に対応できる学力をつける。
2月進研センター試験マーク模試において、75%の結果を出す。

3. 3年間の授業の流れ

【第1学年】

- ・国語、数学、英語の授業が毎日あります。授業を大切にし、基礎学力を身につけてください。
- ・授業→演習→復習のサイクルを確立してください。
国語、数学、英語の家庭学習は継続して行うこと。
放課後の時間を利用し、その日の復習を行うこと。
放課後は教科の先生を積極的に利用すること。
- ・年間4回の全国模擬試験を実施します。学力水準と伸長を客観的に判断し、弱点教科に役立てます。
- ・将来の進路の方向性を決定します。

【第2学年】

- ・国語、数学、英語を中心に、進路希望に合わせて社会、理科の選択授業があります。
- ・1年次の基礎学力の上に、応用力を養い、大学入試センター試験に対応できる学力を身につけます。1年次以上に、家庭学習の量と質が大切になります。
- ・年間4回の全国模擬試験を実施します。2学期以降は社会、理科も試験科目になります。また、志望校の決定の参考とします。
- ・大学研究を行い、志望校と受験科目を決定します。
- ・語学研修を行います。

【第3学年】

- ・進路希望に合わせた選択授業が多くなります。
- ・大学入試センター試験はもちろんですが、個別学力試験に対応できる力を身につけることを基本に、演習中心の授業を行います。
- ・毎月、全国模擬試験を受験し、実践力を身につけます。出願校の決定の参考とします。

科目名	コース	学年	単位数
国語表現	E	2	2

○内容・授業の進め方

- ・文章の書き方の一般的な手順や基本的な事柄を理解する。
- ・情報をまとめて報告する方法を学ぶ。
- ・発表の仕方を学ぶ。

○学習計画

月		月	
4	○オリエンテーション (予習の仕方、課題について 等)	10	・課題作文を書く
	○表現の基礎	11	・テーマ型小論文を解く (並行して小論文の解答の仕方について)
	・文章の書き方	12	・課題文型小論文を解く (文章の読み取りと解答の仕方について)
	・表現の工夫	1	・資料型小論文を解く (資料の読み取りと解答の仕方について)
5	○実践	2	・大学の過去問にチャレンジ (志望校、志望学部の過去問を使用)
	・紹介文、宣伝文の必要性と特徴	3	・大学の過去問にチャレンジ② (難関大学の過去問を使用)
6	・記録文を書く (記録文の特徴と書き方)		
7	・レポートを書く (情報のまとめ方、報告の仕方、発表の 8 仕方)		
9	・考えを発表する。 (場に応じた効果的な話し方)		
備考			

○評価

- ・授業への取り組み
- ・課題への取り組み・提出状況

科目名	コース	学年	単位数
現代文 B	E	2	2

○内容・授業の進め方

- ・長文読解(評論・小説)の演習を、徹底して行います。
- ・課題文を読み、自分の意見をまとめる力を養います。

○学習計画

月		月	
4	○オリエンテーション ○評論の読解(マーク式・記述式) ・評論の読解方法を身につける。	10	○小説の読解(マーク式・記述式) ・小説の読解方法を身につける。
5	①指示語の内容を把握する。 接続語の働きをつかむ。	11	①状況・場面設定をつかむ。
6	②抽象・具体の関係をつかむ。 (A=B)	12	②登場人物・人物像をつかむ。 登場人物の心情の変化をつかむ。
7	③対比の関係をつかむ。 (A←→B)	1	③視点(語り手)をつかむ。
8	④変化・因果の関係をつかむ。 (A→B)	2	④表現の工夫(象徴・比喩)をつかむ。
9	⑤全体の論理構成・テーマをつかむ。 話の筋道(論理)をつかむ。	3	○総合問題(演習問題)
8	○表現		
9	①要約文を書く。		
	②小論文を書く。		
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・授業への取り組み
- ・家庭学習の状況
- ・課題への取り組み、提出状況

科目名	コース	学年	単位数
古典 B	E	2	2

○内容・授業の進め方

- ・古典（古文・漢文）の演習を徹底して行います。
- ・古文…重要古語単語の暗記、文法の理解、和歌を中心に、授業を進めていきます。段階を踏んで、古文の理解、和歌の鑑賞を中心に、授業を進めていきます。
- ・漢文…重要句法の復習をくり返し行い、漢文読解の演習を中心に授業を進めていきます。

○学習計画

月		月	
4	○オリエンテーション (予習の仕方、課題について 等)	4	○漢文 基本（返読文字～書き下し文）の復習
	○古文	5	否定形・使役形の復習
	動詞の復習・形容詞・形容動詞の復習	6	疑問形・反語形の復習
5	助動詞の復習	7	受身形・比較形の復習
6	助詞の復習	8	詠嘆形・選択形の復習
7	敬語の復習	9	願望形の復習
8			
9	○演習	10	○演習
10	(夏以降は演習を中心に、その都度必要に応じて単元の復習をする)	11	(夏以降は演習を中心に、その都度必要に応じて単元の復習をする)
11		12	
12	○マーク対策を並行して進める	1	○マーク対策を並行して進める
1		2	
2		3	
3			
備考 必ず予習をして、授業に臨むこと。 古文：テキスト・古語辞典・古文単語帳・体系古典文法 漢文：テキスト・新明説漢文			

○評価

- ・定期試験
- ・授業への取り組み
- ・家庭学習の状況
- ・課題への取り組み、提出状況

科目名	コース	学年	単位数
地理 B	E	2	3

○内容・授業の進め方

- ・教科書を中心とし、地図帳や GIS(地理情報システム)を活用しながら知識理解を深めていく。
- ・地球に関する関心を高め、地理的考察によって世界を見る力を養う。
- ・センター問題や模試問題を活用し、言葉によって表現できる総合的な学力の定着を図る。

○学習計画

月		月	
4	地理情報と地図 地図活用と地域調査	10	《2学期中間テスト》 ・世界の工業 ・第3次産業
5	自然環境 ・世界の地形 ・世界の気候	11	《11月進研記述》 模試振り返り ・世界を結ぶ交通・通信 ・世界の貿易
6	《1学期末テスト》 ・日本の地形・気候	12	《2学期末テスト》 人口、村落・都市 ・世界の人口問題 ・村落と都市
7	・環境問題	1	《2月進研マーク》 模試振り返り ・世界の衣食住
8	資源と産業 ・世界の農林水産業 ・食料問題	2	《学年末テスト》 ・民族と宗教
9	・世界のエネルギー・鉱山資源 ・資源・エネルギー問題	3	・民族・領土問題
備考 ・ICTを活用し、より鮮明な資料を提供していく。			

○評価

- ① 定期テスト・模試の成績
- ② 授業態度（発言・積極的な挑戦など）を総合的に評価する

科目名	コース	学年	単位数
数学Ⅱ・Ⅲ・B	E	2	4・1・2

○内容・授業の進め方

数学Ⅱ

数学ⅠAで学んだ事が、全ての単元で活用されます。特に、2次関数の性質について理解を深めることが、三角関数以降の単元で重要になります。授業と並行して、数学ⅠAの復習に取り組みながら、授業を進めていく予定です。

また、校外模試やセンター試験対策を意識した演習問題も随時行いますので、毎時間の予習・復習が必須となります。

数学B

数列では、数列の規則性を発見し、自然数の扱いについて理解を深めます。ベクトルの考え方をを用いて、図形の性質を調べる有用性を確認し、数学的なものの見方や考え方の良さを理解します。授業と並行して、数学ⅠAの復習に取り組みながら、授業を進めていく予定です。また、校外模試やセンター試験対策を意識した演習問題も随時行いますので、毎時間の予習・復習が必須となります。

数学Ⅲ

数学Ⅱ・B履修後に3学期は数学Ⅲを履修します。

○学習計画

月	授業予定	月	定期試験・模試予定
4	≪数学Ⅱ≫ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式	4	
5	第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	5	全統模試
6	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	6	単元テスト
7	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	7	1学期末試験
8	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	8	全統模試 課題テスト
9	第2節 対数関数 ≪数学B≫	9	
10	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	10	2学期中間テスト
11	第2章 空間のベクトル 第3章 数列	11	全統模試
12	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	12	2学期末試験
1	≪数学Ⅱ≫ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	1	課題テスト 全統模試
2	第3節 積分法	2	全統マーク・進研マーク
3	≪数学Ⅲ≫ 第1章 複素数平面	3	学年末試験
備考			

○評価

- ・定期試験・課題テスト等の結果を最重要視する。
- ・単元ごとの確認テスト等も評価対象とする。

科目名	コース	学年	単位数
物理	E	2	2

○内容・授業の進め方

物理の内容の前半である力学・波動分野を学習し、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

問題演習も多く取り入れ、大学入試で高得点を取れる学力を身につける。

○学習計画

月		月	
4	○力と運動		
5	・平面内の運動		
6	・剛体		
7	・運動量の保存		
8	・円運動と万有引力		
9			
10	○熱と気体		
11	・気体のエネルギーと状態変化		
12	○波		
1	・波の伝わり方		
2	・音の伝わり方		
3	・光		
備考			

○評価

1. 授業への参加姿勢（発言、小問解答、聴くこと）
2. 課題の提出状況（問題集、テスト再提出）
3. 課題テスト、定期テスト結果

科目名	コース	学年	単位数
化学	E	2	2

○内容・授業の進め方

1. 1年次に学習した物質の状態を復習するとともに原子間や分子間にはたらく力について学び、物質の成り立ちについての理解を深める。
2. 物質の状態変化と化学変化について、それらにはたらくエネルギーと反応速度、平衡について学ぶ。
3. 無機物質の反応や性質から分類が出来るようになる。物質の合成法、実験方法について学ぶ。

○学習計画

月		月	
4	第一編 物質の状態 第一章 粒子の結合と結晶 ①イオン結晶の構造 ②分子間にはたらく力と分子結晶	11	
		12	第三章 化学反応と速さのしくみ 第四章 化学平衡
5	③金属の結晶格子 第二章 物質の状態変化	1	第三編 無機物質
6	①状態変化とエネルギー ②気液平衡と蒸気圧	2	第一章 非金属元素 第二章 典型金属元素 第三章 遷移元素
7	第三章 気体		
8	第四章 溶液	3	第四編 有機化合物
	第二編 物質の変化		
9	第一章 化学反応とエネルギー 第二章 電池と電気分解		
10	①酸化還元反応 ②電池 ③電気分解		
備考			

○評価

1. 意欲態度・・・話の聴き方，発言，課題への取り組み方
2. 授業内容の定着・・・定期テスト
3. 思考力判断力・・・授業中の発言内容が科学的である。論理的に解くことができる。
1つの科学的現象に対し、その現象が、なぜ生じるかを説明することができる。

科目名	コース	学年	単位数
体育	E	2	2

○内容・授業の進め方

生徒同士が協力し、個人やチームの課題を解決出来るようにする。また、スポーツの特性を理解し、ルールを学んだうえで練習し試合まで行う。

○学習計画

月		月	
4	・オリエンテーション ・整列	8	・バレーボール
		9	基礎練習（パス、サーブ、スパイク） ゲーム
5	・柔軟、補強運動 ・スポーツテスト		・選択種目（屋外）
	・陸上競技 短距離走 砲丸投げ	10	サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ
6	走り幅跳び 走り高跳び (基礎練習、記録測定)	11	・バスケットボール 基礎練習（パス、ドリブル、シュート） ゲーム
7	・選択種目（屋外） サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ	12	・器械運動
		1	・スキー（年3回実施）
		2	スキー授業の無い日は引き続き器械運動を
		3	継続する。
備考 体調不良等で見学する場合であっても、運動着に確実に着替えて授業に参加すること。			

○評価

1. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいるか。
2. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っているか。
3. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習しているか。
4. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができるか。
5. 各種目の特性、ルールを理解しているか。

科 目 名	コース	学 年	単位数
保 健	E	2	1

○内容・授業の進め方

思春期から中高年期までの健康に関わることからや、それぞれのライフステージで必要になる保健・医療サービスの活用のしかたなどについて学習します。また、環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学習します。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 心身の変化、性意識の男女差や性行動の選択に及ぼす影響を理解する。	10	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁と健康 ・ 土壌汚染と健康 さまざまな汚染が、たがいに関連して起こる健康影響を考える。
5	・ 結婚生活と健康 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。	11	・ 健康被害の防止と環境対策 環境汚染を防ぐための取り組みを理解する。
6	・ 妊娠、出産と健康 ・ 家族計画と人工妊娠中絶 妊娠、出産の過程における健康課題と人工妊娠中絶の影響を理解する。	12	・ 環境衛生活動のしくみと働き ・ 食品衛生活動のしくみと働き ・ 食品と環境の保健と私たち ごみ処理の過程、食品の衛生管理について理解する。
7	・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み 加齢にともなう心身の変化を理解し、社会的な支援を考える。	1	・ 働くことと健康 ・ 労働災害・職業病と健康 働く人の健康問題や健康管理の必要性について理解する。
8	・ 保健制度と保健サービスの活用 保健行政の役割としくみ	2	・ 健康的な職業生活 職場の健康増進対策について理解する。
9	・ 医療制度と医療費 ・ 医療機関と医療サービスの活用 医療保険のしくみを理解し、医療機関の選び方について考える。	3	
備考			

○評価

- ・ 意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・ 提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・ 授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
コミュニケーション 英語Ⅱ	E	2	4

○内容・授業の進め方

英語でのコミュニケーション能力を高めることを目標とした授業を展開していく。また、話すこととともに、聞く力も養い、最終的には模試やセンター試験においてのリスニング分野の得点向上に繋げることができるようにしたい。

○学習計画

月		月	
4	ヒビスピ° it is 構文	9	Q Skills Unit 4 What makes you laugh?
5	ヒビスピ° it is 構文 比較 仮定法	10	Q Skills Unit 5 How do sports make you feel?
6	ヒビスピ° 仮定法 so that / too to 構文	11	Q Skills Unit 6 Is it ever OK to lie?
7	ヒビスピ° 知覚 / 使役動詞 分詞	12	Q Skills Unit 7 How are children and adults different?
		1-3	Q Skills Unit 8 What are you afraid of?
備考 ヒビスピ (株式会社アルク) Q Skills 1 (Oxford 出版社) を使用			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
英語表現Ⅱ	E	2	3

○内容・授業の進め方

英語でのコミュニケーション能力を高めることを目標とした授業を展開していく。また、話すこととともに、聞く力も養い、最終的には模試やセンター試験においてのリスニング分野の得点向上に繋げることができるようにしたい。

○学習計画

月		月	
4	ヒビスピ° it is 構文	9	Q Skills Unit 4 What makes you laugh?
5	ヒビスピ° it is 構文 比較 仮定法	10	Q Skills Unit 5 How do sports make you feel?
6	ヒビスピ° 仮定法 so that / too to 構文	11	Q Skills Unit 6 Is it ever OK to lie?
7	ヒビスピ° 知覚 / 使役動詞 分詞	12	Q Skills Unit 7 How are children and adults different?
		1-3	Q Skills Unit 8 What are you afraid of?
備考 ヒビスピ (株式会社アルク) Q Skills 1 (Oxford 出版社) を使用			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科 目 名	コース	学 年	単位数
家庭基礎	E	2	2

○内容・授業の進め方

- ・人の一生の日常生活に関わる知識と技術を総合的に学習し、実際の生活にいかせる能力と実践的な態度を身につけます。
- ・実験や実習の機会を多く設定することで、基礎的・基本的な技術の習得を目指します。
- ・新聞やインターネット等の時事情報を活用しながら、現代の家庭生活を取り巻く問題について考えていきます。

○学習計画

月		月	
4	【自分らしい生き方と家族】 自立した生き方を考え、家族と家族に関する法律、生活を支えるための労働と生活時間を理解する。	9	【住生活をつくる】 人と住まいの関わりについて考え、健康で安全な住まいのあり方について理解する。 【食生活をつくる】
5	【子供とかかわる】 子どもの発達と生活リズムを知り、親になること、子が健やかに育つ環境づくりについて理解する。	10	現代の食生活における問題点を考える。 栄養素と食品のかかわりを知り、適切に選択する力を養う。 食事を計画し、安全と衛生面に配慮した調理をする。
6	【高齢者とかかわる】 高齢者を知り、高齢社会に生きる私たちの暮らしを考える。	11	これからの食生活を考える。 【消費行動を考える】
7	【社会とかかわる】 社会保障制度とボランティアについて考える。	12	消費行動と契約について知り、多様化する消費社会について理解する。 消費者の権利と責任、クーリングオフ制度を考える。
8	【衣生活を作る】 衣服の機能や素材を知り、適切な管理について理解する。	1	【経済的に自立する】 経済の仕組みを知り、人生設計・経済設計について考える。
		2	
		3	
備考			

○評価

- ・定期テストを実施し、創意工夫、知識理解を評価する。
- ・学習への参加状況や態度、基礎技術の習得の様子は授業を通して評価する。
- ・ノート、プリントを定期的に提出させ、評価する。
- ・被服製作の作品は必ず提出させ、点検する。

○普通科 Aコース

1. コース目標

「未来を生き抜く力とグローバルリーダーとしての資質を養う」

課外活動と学力の向上の両立に励み、国際社会で活躍できる人材をめざす。

2. 学習目標（第2学年）

進学先を選択できるレベルまで、学力を向上させる。

模試の偏差値58を突破する。

国際社会へ関心を持ち、活躍するために必要な資質・能力を身につける。

3. 3年間の授業の流れ

（第1学年）

- ①中学校までの既習事項を応用する力を身につけ、高校での学習をスタートさせる。
- ②大学受験に必要な基礎学力をつけるために、国語、数学、英語の家庭学習（平日最低2時間）を定着させる。
- ③「授業→復習→課題（応用問題）」のサイクルを確立する。
- ④模擬試験で個々の学力水準と学力の伸長を客観的に判断し、計画的な学習を進める。
- ⑤総合学習でコース行事を通して、進路の方向性を探り、2年次の科目選択に備える。
- ⑥放課後学習や土曜講習で、知識の幅を広げる。

（第2学年）

- ①進路希望に合わせて社会と理科に選択授業があり、自分の選択に責任を持つ。
- ②1年次の基礎学力の上に、大学入試センター試験に対応できる学力をつけることを目標に学習する。（平日最低2時間半）
- ③模擬試験で全国のライバルを意識し、志望校を決定していく。
- ④学部等について調べ、志望校と受験科目、入試方法を決定する。
- ⑤放課後学習や土曜講習で、面接・小論文等の入試対策を行う。

（第3学年）

- ①模擬試験を中心に志望校合格に向けた学習を計画していく。
- ②大学入試センター試験の8割を目標に、演習を重ね学力向上に努める。
- ③入試スケジュールを作成し、保護者との協力体制を強化する。

4. その他

学習習慣が定着してきた2年生では学習内容の充実が目標です。理科と社会の学習は授業を中心に計画を立てていきましょう。既習事項は確実に応用できるまでに習得しておかなければなりません。また、新聞やニュースに目を通し、社会の変化や自然環境の変化、その問題点等に関心を持ちましょう。AO入試や推薦入試に備えた体験活動や小論文対策も計画的に進める必要があります。コース行事や講習への積極的な参加も大学入試に役立つはずですよ。

科目名	コース	学年	単位数
現代文 B	A	2	3

○内容・授業の進め方

- ・長文読解(評論・小説)の演習を、徹底して行います。
- ・課題文を読み、自分の意見をまとめる力を養います。
- ・大学受験に向けて、社会や理科と連携した授業内容を展開することもあります。

○学習計画

月		月	
4	○オリエンテーション ○評論の読解(マーク式・記述式) ・評論の読解方法を身につける。	10	○小説の読解(マーク式・記述式) ・小説の読解方法を身につける。
5	①指示語の内容を把握する。 接続語の働きをつかむ。	11	②登場人物・人物像をつかむ。 登場人物の心情の変化をつかむ。
6	②抽象・具体の関係をつかむ。 (A=B)	12	③視点(語り手)をつかむ。 ④表現の工夫(象徴・比喩)をつかむ。
7	③対比の関係をつかむ。 (A←→B)	1	○総合問題(演習問題)
8	④変化・因果の関係をつかむ。 (A→B)	2	
9	⑤全体の論理構成・テーマをつかむ。 話の筋道(論理)をつかむ。	3	
8	○表現		
9	①要約文を書く。 ②小論文を書く。		
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・授業への取り組み
- ・家庭学習の状況
- ・課題への取り組み、提出状況

科目名	コース	学年	単位数
古典 B	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・古典(古文・漢文)の演習を、徹底して行います。
- ・古文…重要古語単語の暗記、文法の理解、和歌の鑑賞を中心に、授業を進めていきます。段階を踏んで、古文の読解演習を行っていきます。
- ・漢文…重要句法の復習をくり返し行い、漢文読解の演習を中心に授業を進めていきます。

○学習計画

月		月	
4	○オリエンテーション (予習の仕方、課題について 等)	4	○漢文 基本(返読文字～書き下し文)の復習
	○古文	5	否定形・使役形の復習
	動詞の復習・形容詞・形容動詞の復習	6	疑問形・反語形の復習
5	助動詞の復習	7	受身形・比較形
6	助詞	8	詠嘆形・選択形
7	敬語	9	願望形・演習
8	演習		(9月以降は演習を中心に、その都度必要に応じて単元の復習をする)
9	(夏以降は演習を中心に、その都度必要に応じて単元の復習をする)	10	○マーク対策を並行して進める
10	○マーク対策を並行して進める	11	
11		12	
12		1	
1		2	
2		3	
3			
備考			
必ず予習をして、授業に臨むこと。			
随時、模試の対策を行います。			
古文：テキスト・古語辞典・古文単語帳・体系古典文法			
漢文：テキスト・新明説漢文			

○評価

- ・定期試験
- ・授業への取り組み
- ・家庭学習の状況
- ・課題への取り組み・提出状況

科目名	コース	学年	単位数
世界史 B	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・事前に提示されるテーマについて、生徒が学習した内容を授業で発表する。
- ・予習した事項の理解や考察を、問答法やディスカッションを通して深める授業と位置づける。

○学習計画

月		月	
4	オリエントと地中海世界、古代文明	11	近世ヨーロッパの形成・展開
5	○各地で登場する文明の特徴と成立の背景を理解し、説明することができる		○主権国家の成立から海外進出までの展開を理解し、各国の視点から考察することができる
	内陸アジア、東アジアの形成	12	18世紀の世界
6	○遊牧民と農耕民が築いた関係や文化圏を中国史を中心に捉えることができる		○産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命を詳細に理解し、相互の関連を考察することができる
	イスラーム世界の形成・発展	1	
7	○各王朝に共通するイスラーム理念と相違点を説明することができる		19世紀前半の世界
	ヨーロッパの形成・発展		○ナポレオンとナショナリズムの登場がヨーロッパをどのように変えたかを理解し説明することができる
8	○ゲルマン民族移動後のヨーロッパの変遷を理解し、中世に至る背景を説明することができる	2	
	○中世のできごとの相互関係を理解し、深く考察することができる	3	○ウィーン体制下の各国の運動を整理し、相互関係を説明することができる
9			○列強の各国ごとの政策を理解し、説明することができる
	アジア諸地域の繁栄		
10	○清朝までの変遷と周辺国との関係を捉え、中国史を再構築できる		
備考			
・教科書、用語集、資料集を準備し、必ず予習をして授業に臨むこと。			

○評価

- ・授業態度、定期試験（上記の○の到達度を確認）、授業に臨むまでの準備で評価
- ・世界史における既習事項を自身で再構築し、自分なりの考察ができているかを重視する

科目名	コース	学年	単位数
日本史 B	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・日本の近現代、原始から古代までの歴史の流れを理解する。
- ・進研模試で偏差値60以上を取れるような学力をつける

○学習計画

月		月	
4	近代① ペリー来航、明治維新 自由民権運動、日清・日露戦争	10	≪2学期中間テスト≫ 古代① 小国の分立、古墳時代の変化 飛鳥時代の政治、飛鳥文化
5	近代② 明治の産業革命、明治の文化 第一次世界大戦、ワシントン体制 大正の文化	11	古代② 大宝律令、奈良時代の政治の変化 天平文化
6	近代③ 昭和恐慌、軍部の台頭 第二次世界大戦、太平洋戦争		≪11月進研記述≫
7	≪1学期末テスト≫	12	≪2学期末テスト≫
8	現代	1	古代③ 平安初期の政治、弘仁・貞観文化 摂関政治、国風文化
9	占領政策、冷戦の開始と講和 55年体制、高度経済成長時代 昭和から平成へ		≪1月進研記述≫
	原始 旧石器文化、縄文文化、弥生文化	2	古代④
		3	院政、武士の登場 ≪2月進研マーク≫ ≪学年末テスト≫
備考 ・鎌倉時代～江戸時代は3年次で行う ・授業内容の復習として0校時課題や週末課題を課す			

○評価

- ① 定期テスト・模試の成績
- ② 課題の提出状況
- ③ 授業態度（予習の取り組み・発言など）を総合的に評価する

科目名	コース	学年	単位数
地理 B	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・教科書を中心とし、地図帳や GIS(地理情報システム)を活用しながら知識理解を深めていく。
- ・地球に関する関心を高め、地理的考察によって世界を見る力を養う。
- ・センター問題や模試問題を活用し、総合的な学力の定着を図る。

○学習計画

月		月	
4	地理情報と地図 地図活用と地域調査	10	《2学期中間テスト》 ・世界のエネルギー・鉱山資源 ・資源・エネルギー問題・世界の工業
5	自然環境 ・世界の地形	11	《11月進研記述》 <u>模試振り返り</u> ・第3次産業
6	《1学期末テスト》 ・世界の気候	12	《2学期末テスト》 ・世界の貿易
7	・日本の地形・気候 ・環境問題	1	人口、村落・都市 ・世界の人口問題
8	資源と産業 ・世界の農林水産業	2	《2月進研マーク》 <u>模試振り返り</u> ・村落と都市
9	・食料問題	3	《学年末テスト》
備考 ・ICTを活用し、より鮮明な資料を提供していく。 ・			

○評価

- ① 定期テスト・模試の成績
- ② 授業態度（発言・積極的な挑戦など）を総合的に評価する

科目名	コース	学年	単位数
現代社会	A	2	1

○ 内容・授業の進め方

- ・現代の社会に存在する諸問題を理解し、様々な角度から考察する力を養っていく。
- ・身近な事例をふまえながら「環境、生き方、政治、経済、世界とのかかわり」に対する見方、考え方をを見つけることができるように学習していく。
- ・センター試験を強く意識し、演習も交えていく。
→その手段として、文章や資料を読み解く力と、思考力・判断力の育成をねらいとした取り組みを行う。

月		月	
4	青年期と自己形成の課題 青年期、いきがい、哲学、宗教 ○グローバル化した社会の中で、様々な人の考え方を参考にし、自分の生き方について考えることができる	10	現代の経済と国民福祉 経済の仕組み、日本経済、経済と生活
5	日本国憲法と民主政治 民主主義、日本国憲法、日本の政治 ○日本の政治の仕組みについて理解し、新聞やニュースに自分の考えを持つことができる	11	○経済の仕組みについて、様々な資料から理解し、自分の生活ではどのように影響しているのか考えることができる。
6		12	国際社会と人類の課題 国際政治、国際経済、国際社会
7	現代社会と法 法の働き、司法と人権 ○裁判がどのように行われているか理解することができる	1	○時代背景を理解したうえで、地球人として今後どのように生きていくべきか自分の考えを持ち、表現することができる。
		2	
		3	自主探求課題 レポート作成 ○1年間学んだことや、新聞・ニュースから、より自分が気になったことについてレポートを作ることができる。
備考 ・教科書、ノートを準備して臨むこと。 ・時数の関係上授業速度が速いので、予習復習でさらに定着度を深めること。 ・週末課題として新聞を使った課題を課す。			

○評価

- ・授業態度、提出物、定期テスト、課題で評価
- ・日常的な社会への関心度を重要視していく。
- ・定期テストの結果・小テストの結果

科目名	コース	学年	単位数
数学Ⅱ・B	A	2	4・2

○内容・授業の進め方

数学Ⅱ

数学ⅠAで学んだ事が、全ての単元で活用されます。特に、2次関数の性質について理解を深めることが、三角関数以降の単元で重要になります。授業と並行して、数学ⅠAの復習に取り組みながら、授業を進めていく予定です。

また、校外模試やセンター試験対策を意識した演習問題も随時行いますので、毎時間の予習・復習が必須となります。

数学B

数列では、数列の規則性を発見し、自然数の扱いについて理解を深めます。ベクトルの考え方をを用いて、図形の性質を調べる有用性を確認し、数学的なものの見方や考え方の良さを理解します。授業と並行して、数学ⅠAの復習に取り組みながら、授業を進めていく予定です。また、校外模試やセンター試験対策を意識した演習問題も随時行いますので、毎時間の予習・復習が必須となります。

○学習計画

月	授業予定	月	定期試験・模試予定
4	≪数学Ⅱ≫ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式	4	課題テスト
5	第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	5	単元テスト
6	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	6	
7	第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	7	進研模試 1学期末試験
8	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	8	課題テスト
9	第2節 対数関数 ≪数学B≫	9	
10	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	10	2学期中間テスト
11	第2章 空間のベクトル 第3章 数列	11	進研模試
12	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	12	2学期末試験
1	≪数学Ⅱ≫ 第6章 微分法と積分法	1	課題テスト 進研模試
2	第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	2	進研マーク
3	第3節 積分法	3	学年末試験
備考			

○評価

- ・定期試験・模試等の結果を最重要視する。
- ・単元ごとの確認テスト、コース内で実施する数学のテスト等の結果も平常点の評価対象とする。

科目名	コース	学年	単位数
物理	A	2	2

○内容・授業の進め方

物理の内容の前半である力学・波動分野を学習し、物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

アクティブラーニング型の授業により、問題演習を多く取り入れ、大学入試で高得点を取れる学力を身につける。

○学習計画

月		月	
4	平面内の運動	10	気体のエネルギーと状態変化
5	(平面運動の速度・加速度・落体の運動)		(気体の法則・気体分子の運動・気体の状態変化)
6	剛体	11	波の伝わり方
	(剛体にはたらく力のつりあい・剛体にはたらく力の合力と重心)		(正弦波・波の伝わり方)
7	運動量の保存	12	音の伝わり方
	(運動量と力積・運動量保存則・反発係数)	1	(音の伝わり方・音のドップラー効果)
8	円運動と万有引力	2	光
9	(等速円運動・慣性力・単振動・万有引力)	3	(光の性質・レンズ・光の干渉と回折)
備考			

○評価

1. 授業への参加姿勢（発言、質問、教え合い）
2. 課題の提出状況（問題集、テスト再提出）
3. 課題テスト、定期テスト結果

科目名	コース	学年	単位数
化学	A	2	2

○内容・授業の進め方

1. 1年次に学習した物質の状態を復習するとともに原子間や分子間にはたらく力について学び、物質の成り立ちについての理解を深める。
2. 物質の状態変化と化学変化について、それらにはたらくエネルギーと反応速度、平衡について学ぶ。
3. 無機物質の反応や性質から分類が出来るようになる。物質の合成法、実験方法について学ぶ。

○学習計画

月		月	
4	第一編 物質の状態 第一章 粒子の結合と結晶 ①イオン結晶の構造 ②分子間にはたらく力と分子結晶 ③金属の結晶格子	11	3節 化学平衡
5	第二章 物質の状態変化 ①状態変化とエネルギー ②気液平衡と蒸気圧	12	3章 無機物質
6	第三章 気体	1	1節 周期表
7	第四章 溶液	2	2節 非金属元素
8	第二編 物質の変化 第一章 化学反応とエネルギー	3	3節 金属元素
9	第二章 電池と電気分解 ①酸化還元反応 ②電池		
10	③電気分解		
備考			

○評価

1. 意欲態度・・・話の聴き方、発言、課題への取り組み方
2. 授業内容の定着・・・定期テスト
3. 思考力判断力・・・授業中の発言内容が科学的である。論理的に解くことができる。
科学的現象がなぜ生じるかを説明することができる。

科 目 名	コース	学 年	単位数
生 物	A	2	2

○内容・授業の進め方

生物学の基本的な概念などの理解の充実を図る。そのために、問題集を積極的に活用する。そして、その知識を用いて、生物的事象について自ら探求し、表現する力を養う。

○学習計画

月		月	
4	1 細胞と分子 生体を構成する物質 タンパク質の構造と性質	11	4 生殖と発生 遺伝子と染色体
5	酵素のはたらき 細胞の構造 物質輸送とタンパク質 情報伝達とタンパク質	12	減数分裂と遺伝情報の分配 遺伝子の多様な組み合わせ 動物の配偶子形成と受精
6	2 代謝 代謝とエネルギー	1	初期発生過程 細胞の分化と形態形成 植物の配偶子形成と発生
7	呼吸と発酵 光合成	2	5 動物の反応と行動 ニューロンとその興奮 刺激の受容
8	窒素同化	3	情報の統合 刺激への反応 動物の行動
9	3 遺伝情報の発現 DNAの構造と複製		
10	遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー		
備考			

○評価

1. 意欲や態度・・・話を聞く態度がきちんとしている。
積極的に授業に参加している。
2. 授業内容の定着・・・課題テストや定期テストで得点できる。
3. 科学的表現・・・授業中の発現内容が科学的である。
生物的事象について、科学的に説明できる。

以上の点を総合的に評価します。

科目名	コース	学年	単位数
理科発展 I (生基)	A	2	2 (1)

○内容・授業の進め方

- (1) 1年次に学習した生物基礎の復習を中心に授業を進める。
- (2) 理科の基本的な事項を確認し、生物基礎の内容をより発展させた内容を学ぶ。また大学受験に対応した学力を身につける。

○学習計画

月		月	
4	◆生物の特徴	1	◆生物の多様性と分布
5	・生物の多様性と共通性		・多様な植生
6	・エネルギーと代謝 ・光合成と呼吸	2	・植生の移り変わり ・気候とバイオーム
7	◆遺伝子とそのはたらき		◆生態系とその保全
8	・遺伝情報と DNA	3	・生態系
9	・DNA の構造と遺伝情報		・物質循環とエネルギーの流れ
10	・遺伝情報とタンパク質の合成 ・遺伝情報の分配と細胞の分化		・生態系のバランスと保全
11	◆生物の体内環境		
	・体液としての体内環境		
12	・腎臓と肝臓による調節 ・自律神経とホルモンによる調節 ・免疫		
備考			

○評価

1. 意欲や態度・・・アクティブラーニングに取り組む姿勢が積極的である。
課題に取り組み、期日まで提出している。
2. 授業内容の定着・・・課題テストや定期テストで得点できる。
3. 思考力、判断力、表現力・・・授業中の発言内容が科学的である。
課題を論理的に解くことができる。
自分の考えを的確に伝えることができる。
以上の点を総合的に評価します。

科目名	コース	学年	単位数
理科発展 I (化基)	A	2	2 (1)

○内容・授業の進め方

1年次の「化学基礎」の履修内容の復習を中心に進める。

アクティブラーニング型の授業を行い、大学入試センター試験で高得点をとれる学力を身につける。

○学習計画

月		月	
4	復習・演習 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1 混合物と純物質 2 物質とその成分	9	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応 1 原子量・分子量・式量
5	3 物質の三態と熱運動	10	2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質質量
6	第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造 2 イオン	11	第2章 酸と塩基の反応 1 酸・塩基
7	3 周期表	12	2 水の電離と水溶液の pH 3 中和反応
8	第3章 粒子の結合 1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 分子の極性 4 共有結合の物質 5 金属結合と金属	1	4 塩
		2	第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤
		3	センター演習
備考			

○評価

意欲・態度…授業に積極的に取り組んでいる。

課題に取り組み、期日までに提出している。

授業内容の定着…課題テストや定期テストで得点できる。

思考力判断力…学んだ内容を利用して問題を解くことができる。

科目名	コース	学年	単位数
体育	A	2	2

○内容・授業の進め方

生徒同士が協力し、個人やチームの課題を解決出来るようにする。また、スポーツの特性を理解し、ルールを学んだうえで練習し試合まで行う。

○学習計画

月		月	
4	・オリエンテーション ・整列	8	・バレーボール
		9	基礎練習（パス、サーブ、スパイク） ゲーム
5	・柔軟、補強運動 ・スポーツテスト		・選択種目（屋外）
		10	サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ
6	・陸上競技 短距離走 砲丸投げ 走り幅跳び 走り高跳び (基礎練習、記録測定)		・バスケットボール
		11	基礎練習（パス、ドリブル、シュート） ゲーム
7	・選択種目（屋外） サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ	12	・器械運動
		1	・スキー（年3回実施）
		2	スキー授業の無い日は引き続き器械運動を
		3	継続する。
備考 体調不良等で見学する場合であっても、運動着に確実に着替えて授業に参加すること。			

○評価

1. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいるか。
2. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っているか。
3. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習しているか。
4. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができるか。
5. 各種目の特性、ルールを理解しているか。

科 目 名	コース	学 年	単位数
保 健	A	2	1

○内容・授業の進め方

思春期から中高年期までの健康に関わることがらや、それぞれのライフステージで必要になる保健・医療サービスの活用のしかたなどについて学習します。また、環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学習します。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 心身の変化、性意識の男女差や性行動の選択に及ぼす影響を理解する。	10	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁と健康 ・ 土壌汚染と健康 さまざまな汚染が、たがいに関連して起こる健康影響を考える。
5	・ 結婚生活と健康 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。	11	・ 健康被害の防止と環境対策 環境汚染を防ぐための取り組みを理解する。
6	・ 妊娠、出産と健康 ・ 家族計画と人工妊娠中絶 妊娠、出産の過程における健康課題と人工妊娠中絶の影響を理解する。	12	・ 環境衛生活動のしくみと働き ・ 食品衛生活動のしくみと働き ・ 食品と環境の保健と私たち ごみ処理の過程、食品の衛生管理について理解する。
7	・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み 加齢にともなう心身の変化を理解し、社会的な支援を考える。	1	・ 働くことと健康 ・ 労働災害・職業病と健康 働く人の健康問題や健康管理の必要性について理解する。
8	・ 保健制度と保健サービスの活用 保健行政の役割としくみ	2	・ 健康的な職業生活 職場の健康増進対策について理解する。
9	・ 医療制度と医療費 ・ 医療機関と医療サービスの活用 医療保険のしくみを理解し、医療機関の選び方について考える。	3	
備考			

○評価

- ・ 意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・ 提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・ 授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
音楽 I	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・幅広く歌うこと・楽器に親しむこと・演奏すること・アンサンブルへの取り組みなど、生徒同士の交流を深めながら音楽に広く親しむという「活動」を中心に授業を進める。
- ・読譜や記譜の力を養い為、音楽の基礎学習をする。音楽を言語で伝え鑑賞する。
- ・発表する力を磨き、表現の工夫や鑑賞をする。

達成目標：表現活動に積極的に取り組む。

生徒同士協力し合い学習する。

楽しみながら表現の工夫をしあう。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション ・リトミック ・音楽理論	9	楽器で演奏しようその(アンサンブル編) 楽器：ハンドベル
5	キーボード学習 ・両手弾きに挑戦 ・コードネームの仕組み	10	ハンドベル発表会
6	・弾き歌いに挑戦 キーボード実技テスト	11	日本の楽器を演奏しよう 楽器：箏
7	ミュージカル映画(レ・ミゼラブル) 期末試験	12	日本の伝統音楽を学ぼう 期末テスト
		1	合奏
		2	(クラス全員で1つの曲を完成させよう)
		3	学年末試験
備考			

○評価

定期試験で学習確認テストをし、50%に評価します。また、実技演奏・発表を發表の態度・意欲も含み50%評価します。更に、日常の学習に積極的に参加しているか、提出物の期限内に提出しているかを平常点に評価します。

発表・演奏内容：一学期：キーボードテスト リズムテスト 二学期：ハンドベル発表会
三学期：合奏発表

定期テスト (50%) 1) 関心・意欲・態度 2) 思考・判断 4) 知識・理解

演奏・発表 (50%) 1) 関心・意欲・態度 2) 思考・判断 3) 技能・表現

科目名	コース	学年	単位数
美術 I	A	2	2

○内容・授業の進め方

課題に対して作品を制作していきます。制作のみで終わらないようにお互いの作品を鑑賞しあって、まとめや反省を行い、定期テストや小テストで課題の確認を行います。また Web ページを活用して作家の制作活動や作品を鑑賞して様々な表現方法や価値観について学びます。また美術史と現代の美術様式についても学びます。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション 絵画 観賞と表現 記憶スケッチ	10	絵画 観賞と表現 自己を表現する
5	有名作品の模写 絵画 表現 鉛筆デッサンによるイメージの広がり	11	彫刻 鑑賞と表現 現代彫刻と新しい素材
6	デザイン 観賞と表現 カラーリングの基礎 画像処理の基礎	12	絵画 表現 版画 発想から印刷まで
7	彫刻 観賞と表現 石彫刻による日本の美	1	
8	マルチメディア表現 観賞と表現	2	
9	映像にみる現代性	3	各メディアのまとめ
備考 時代や流行を無視することなく積極的に取り入れるために制作テーマは年度当初にすべて決定していない。また各単元の教材変更もありうる。			

○評価

評価基準全体（課題制作・定期テスト）

- 1) 関心・意欲・態度 (25%)
- 2) 思考・判断 (25%)
- 3) 技能・表現 (25%)
- 4) 知識・理解 (25%)

評価基準内訳（上記項目 1～4）の

- | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|
| 定期テスト (40%) | 1) 10% | 2) 15% | 3) 25% |
| 課題制作 (60%) | 1) 15% | 2) 10% | 3) 25% |

科目名	コース	学年	単位数
コミュニケーション 英語Ⅱ	A	2	3

○内容・授業の進め方

センター試験を見据えて、文章読解力を養う。また、自分の考えを英語でまとめ、英語で発表する力を養う。

○学習計画

月		月	
4	ヒビスピ it is 構文	9	Q Skills Unit 4 What makes you laugh?
5	ヒビスピ it is 構文 比較 仮定法	10	Q Skills Unit 5 How do poets make you feel?
6	ヒビスピ 仮定法 so that / too to 構文	11	Q Skills Unit 6 Is it ever OK to lie?
7	ヒビスピ 知覚 / 使役動詞 分詞	12	Q Skills Unit 7 How are children and adults different?
		1-3	Q Skills Unit 8 What are you afraid of?
備考 ヒビスピ (株式会社アルク) Q Skills 1 (Oxford 出版社) を使用			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
英語表現Ⅱ	A	2	2

○内容・授業の進め方

センター試験を見据えた文法指導を行う。また、自分の考えを英語でまとめ、英語で発表するための表現力を養う。

○学習計画

月		月	
4	ヒビスピ it is 構文	9	Q Skills Unit 4 What makes you laugh?
5	ヒビスピ it is 構文 比較 仮定法	10	Q Skills Unit 5 How do sports make you feel?
6	ヒビスピ 仮定法 so that / too to 構文	11	Q Skills Unit 6 Is it ever OK to lie?
7	ヒビスピ 知覚 / 使役動詞 分詞	12	Q Skills Unit 7 How are children and adults different?
		1-3	Q Skills Unit 8 What are you afraid of?
備考 ヒビスピ (株式会社アルク) Q Skills 1 (Oxford 出版社) を使用			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科 目 名	コース	学 年	単位数
家庭基礎	A	2	2

○内容・授業の進め方

- ・人の一生の日常生活に関わる知識と技術を総合的に学習し、実際の生活にいかせる能力と実践的な態度を身につけます。
- ・実験や実習の機会を多く設定することで、基礎的・基本的な技術の習得を目指します。
- ・新聞やインターネット等の時事情報を活用しながら、現代の家庭生活を取り巻く問題について考えていきます。

○学習計画

月		月	
4	【自分らしい生き方と家族】 自立した生き方を考え、家族と家族に関する法律、生活を支えるための労働と生活時間を理解する。	9	【住生活をつくる】 人と住まいの関わりについて考え、健康で安全な住まいのあり方について理解する。 【食生活をつくる】
5	【子供とかかわる】 子どもの発達と生活リズムを知り、親になること、子が健やかに育つ環境づくりについて理解する。	10	現代の食生活における問題点を考える。 栄養素と食品のかかわりを知り、適切に選択する力を養う。 食事を計画し、安全と衛生面に配慮した調理をする。
6	【高齢者とかかわる】 高齢者を知り、高齢社会に生きる私たちの暮らしを考える。	11	これからの食生活を考える。 【消費行動を考える】
7	【社会とかかわる】 社会保障制度とボランティアについて考える。	12	消費行動と契約について知り、多様化する消費社会について理解する。 消費者の権利と責任、クーリングオフ制度を考える。
8	【衣生活を作る】 衣服の機能や素材を知り、適切な管理について理解する。	1	【経済的に自立する】 経済の仕組みを知り、人生設計・経済設計について考える。
		2	
		3	
備考			

○評価

- ・定期テストを実施し、創意工夫、知識理解を評価する。
- ・学習への参加状況や態度、基礎技術の習得の様子は授業を通して評価する。
- ・ノート、プリントを定期的に提出させ、評価する。
- ・被服製作の作品は必ず提出させ、点検する。

○普通科 S コース

1. コース目標

幅広い進路に対応できる学力を身に付ける
社会に通用する知識を学ぶ
パソコンの知識と技術を身につける。

2. 学習目標（第2学年）

基礎学力の定着をはかり、進路に応じた学習を行う。

3. 3年間の授業の流れ

【第1学年】

授業を通し基本的な学力を身につけます。
企業見学を行います。
パソコンに関する基礎的な技術を学びます。また1回目の MOS 検定（Excel）があります。

【第2学年】

検定2回（PowerPoint Word）を行います。
インターンシップを1回行い、社会的ルールを学びます。またインターンシップを通して自分の将来の進路を考えます。

【第3学年】

進路目標に合わせて、コース別に授業を行います。進学コース、就職コースに分かれて自分の進路目標を達成します。管内就職希望者はインターンシップがあります。

4. その他

科目名	コース	学年	単位数
現代文 B	S	2	2

○内容・授業の進め方

- ・伝え合う力を確かなものにするため、理解と表現学習を共に行います。
- ・自ら学び自ら考える意欲を高め、生きる力を育みます。
- ・日本の言葉の文化・伝統を受け継ぎ、心豊かな生活を創造します。
- ・ものの見方・考え方・感じ方に触れ、総合的にとらえる感性を高めます。
- ・国語の知識を深め関心を高め、国際社会に生きる国語力を獲得します。

○学習計画

月		月	
4	○随想Ⅰ 「さくらさくらさくら」 ・筆者独特のものの見方・感じ方をつかむ。 ・短歌の解釈について話し合い、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。	9	○表現Ⅲ 意見文 【考える力・話す力】 ・テーマに対して自分の意見を持つ。 ・意見文をまとめて、発表する。
5	○表現Ⅰ スピーチ 【話す力・聞く力】 ・テーマに対しての自分の考えや意見を持ち、自分の言葉でまとめる。 ・クラスで発表し、クラスメイトの考えや意見を聞く。	10	○小説Ⅰ 「旅する本」
6	○表現Ⅱ 紹介文 【伝える力】 ・歌の詞について、その物語とそれに対して感じたことを自分の言葉でまとめる。 ○評論Ⅰ 「安心について」	11	・情景や心理描写を的確に読み取る。 ・本文の内容に即して、表現の意図とその効果を的確に理解する。
7	・論理展開と論の筋をおさえる。 ・批評精神を学び育てる。 ・段落事の要点をつかみ、内容をつかむ。	12	・小説の登場人物に自分を重ねながら、読む楽しみを味わう。
8	・筆者の主張・考えをおさえる	1	○表現Ⅳ 感想文 【読む力・書く力】 ・本文を的確に理解する前後の考えたこと感じたことの違いを体験する。 ・クラスで発表し、意見を交換する。
		2	○詩Ⅰ 「ふうふう紙を・・・」 ・名作を朗読し、作品世界の理解を深める。
		3	・作品を読み込み、作者の心理や情景を読み取る。 ○表現Ⅴ 正しい敬語 【話す力・コミュニケーション力】
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・日常の取り組み
- ・単元ごとの漢字・語句小テスト

科目名	コース	学年	単位数
古典 A	S	2	2

○内容・授業の進め方

- ・自分の感じたことや考えたことを的確にまとめ、自らの言葉で表現する力を高めます。
- ・古典（古文）を学ぶ中で、内容を正確に理解するための基本的な知識を身につけます。
- ・大学入試に向けての基礎学力の徹底を目指します。

○学習計画

月		月	
4	古文入門 説話「宇治拾遺物語」 ・予習の仕方を学ぶ。 ・古語辞典の使い方を身につける。	8	物語
5	・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を理解する。 ・古文の音読をする。	9	「平家物語」 「源氏物語」 ・歴史上の人物、出来事がどのように語られているかを読み取る。
6	随筆 「枕草子」「方丈記」 ・歴史的仮名遣いの復習をする。 ・古文の表現に慣れ、内容を理解する力を養う。 ・古語辞典を引きながら現代語訳ができるようになる。	10	・軍記を読み、登場人物が戦乱の世にどのように生きたかを読み取る。 ・軍記の表現上の特色を理解する。
7	・用言（動詞）の活用を学ぶ。 ・登場人物の心情や行動について考える。 ・表現技法を学び、鑑賞する ・古典のものの見方や感じ方を知る。	11	日記 「更級日記」 ・古人のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間の生き方やあり方について考察する。
		12	漢文
		1	「鴻門の会」「項王の最期」 ・漢文特有のリズムや表現の美しさを味わう。
		2	
		3	・古代中国の思想や、歴史書に描かれた人物の生き方・考え方を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・日常の取り組み
- ・漢字や題材に対する小テスト・提出物

科目名	コース	学年	単位数
総合実践 B	S	2	1

○内容・授業の進め方

手帳を活用しながら、1週間の学習計画を立て、実行、反省、改善を行う。
また小論教材を活用し、文章を組み立て実際に書ける力を身につける。

○学習計画

月		月		
4	小論テキストを使用した小論文練習	11	<p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">グループ討論やディベートのやり方 自分の考えを相手に伝える</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	
5	↓	12		
6		1		
7		2		
8	↓	3		
9	新聞を活用した、資料読み取り			
10	↓			
備考				

○評価

- ・ 授業への参加意欲
- ・ 課題への取り組み
- ・ 試験の成績

以上を総合的に評価する。

科目名	コース	学年	単位数
地理 A	S	2	2

○ 内容・授業の進め方

- ・ 作業的・体験的な学習を通して地理的技能を身につける
- ・ 異文化の理解と地域的課題をとらえ追求することにより、世界各国との認識を深める学習を行う

○ 学習計画

月		月	
4	○ 地図を学習する上での基本的な事項 ・ 地図帳の概要、方位、緯度、経度、縮尺、時差の求め方を理解する	8	○ 近隣諸国の生活・文化と日本
5	○ 人間生活を取り巻く環境 ・ 人々の生活と地形・気候等を知る	9	・ 韓国の生活・文化を知る
6	○ 世界の諸地域 ・ 中国の生活・文化を学ぶ ・ 東南アジアの生活・文化を学ぶ ・ インドの生活・文化を学ぶ ・ ヨーロッパの生活・文化を学ぶ	10	○ 地球的課題と私たち ・ 地球的課題と私たち ・ 世界の人口問題を考える ・ 世界の食料問題を考える
7	・ アメリカ合衆国の生活・文化を学ぶ ・ オーストラリアの生活・文化を学ぶ	11	・ 世界の都市・住居問題を理解する ・ 世界の資源・エネルギー問題を考える
		12	・ 世界の環境問題を考える
		1	・ 地球的課題のための何が必要かを理解する
		2	○ 近隣諸国が取り組む課題と日本の役割
		3	・ 近隣諸国の森林破壊への取り組みを考える ・ 近隣諸国の大気汚染への取り組みを考える
備考 毎時間プリントにまとめて提出します			

○ 評価

- ・ 定期試験
- ・ 授業中の学習態度や提出物（プリント）が出来ているか
- ・ 授業に対する意欲

科目名	コース	学年	単位数
数学 A	S	2	3

○内容・授業の進め方

- ・数学 I で学んだ事が今後の学習の基礎になります。1 学期は基本事項の復習を行い、数学 A の学習につながるようにしましょう。
- ・第 1 章では、場合の数をもれなく数え上げることを意識し、効率よい数え上げ方を身につけます。また、確率の意味を理解し、基本的な性質や定理について理解し、具体的な事象を数学的に考察します。
- ・第 2 章では、三角形や円と直線など、それぞれの図形が持つ重要な性質を確認し、図形に対する直観力・洞察力を身につけます。
- ・第 3 章では、整数が持つ重要な性質を確認し、今までとは違う視点から数学の見方ができるように応用力を身につけます。

○学習計画

月		月	
4	1 年次の復習	10	実力診断テスト
5	数学 I		第 2 節 ユークリッドの互除法
6	第 1 章 場合の数		中間テスト
	第 1 節 数え上げの法則	11	第 3 節 整数の性質の利用
	第 2 節 順列・組合せ		
	実力診断テスト	12	期末テスト
7	期末テスト		第 4 章 図形の性質
	第 2 章 確率		第 1 節 三角形の性質
	第 1 節 確率の基本性質と いろいろな確率	1	課題テスト
			第 2 節 円の性質
8	課題テスト	2	第 3 節 作図
			第 4 節 空間図形
9	第 3 章 整数の性質	3	学年末テスト
	第 1 節 倍数と約数		
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト以外に単元ごとの確認テストをおこなう。 ・通常授業の中に、生徒自身が発表や説明をするための時間を設けることがある。 			

○評価

時間内の 1 問確認テスト、単元毎の確認テスト（必要に応じて）、定期テスト、課題テストの結果を重視する。基本的に提出物での加点は行わない（減点はあり得る）。

科目名	コース	学年	単位数
化学基礎	S	2	2

○内容・授業の進め方

「物質の構成」では原子の構造及び電子配置と周期律の関係を学ぶ。また、化学結合と物質の性質との関係を学び、物質の成り立ち等についてイメージできるようになる。

「物質の変化」では化学反応の量的関係、化学反応に関する基本的概念や法則を学ぶ。アクティブラーニングを用いて問題演習に取り組むことで、化学的知識の定着をすすめ、論理的な表現力を養う。

○学習計画

月		月	
4	序章 化学と人間生活 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	9	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応
5	1 混合物と純物質 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	10	1 原子量・分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質量
6	第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造 2 イオン	11	第2章 酸と塩基の反応 1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液の pH
7	3 周期表 第3章 粒子の結合	12	3 中和反応 4 塩
8	1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 分子の極性 4 共有結合の物質 5 金属結合と金属	1	第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元
		2	2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応
		3	4 酸化還元反応の利用 —電離・金属の製錬—
備考			

○評価

1. 意欲態度・・・他の生徒へ自分の考えを伝えることができる。
さまざまな課題に対し、生徒間で積極的に解決に取り組める。
2. 授業内容の定着・・・定期テストで得点できる。
3. 思考力判断力・・・科学的な表現を用いて発言・記述ができる。

科 目 名	コース	学 年	単位数
生物基礎	S	2	2

○内容・授業の進め方

身の回りの生物や生物現象の本質に関わるような基本的な事項を深く学んでいきます。
 観察や実験等の探求活動を通して科学を経験的に学び、さらに生物の個々の事象を関連させ、総合的にとらえる科学的な思考力が身につくように学びます。上級学校への進学にも対応できるように、いろいろな問題演習に取り組みます。

○学習計画

月		月	
4	◆生物の特徴 ・生物の多様性と共通性	1	◆生物の多様性と分布 ・多様な植生
5	・エネルギーと代謝	2	・植生の移り変わり
6	・光合成と呼吸	3	・気候とバイオーム
7	◆遺伝子とそのはたらき ・遺伝情報と DNA	◆生態系とその保全 ・生態系	
8	・DNA の構造と遺伝情報	・物質循環とエネルギーの流れ	
9	・遺伝情報とタンパク質の合成	・生態系のバランスと保全	
10	・遺伝情報の分配と細胞の分化		
11	◆生物の体内環境 ・体液としての体内環境		
12	・腎臓と肝臓による調節		
	・自律神経とホルモンによる調節		
	・免疫		
備考			

○評価

1. 意欲や態度・・・話を聞く態度がきちんとしている。
課題に取り組み、期日まで提出している。
2. 授業内容の定着・・・課題テストや定期テストで得点できる。
3. 思考力判断力・・・授業中の発言内容が科学的である。
課題を論理的に解くことができる。

以上の点を総合的に評価します

科目名	コース	学年	単位数
体育	S	2	2

○内容・授業の進め方

生徒同士が協力し、個人やチームの課題を解決出来るようにする。また、スポーツの特性を理解し、ルールを学んだうえで練習し試合まで行う。

○学習計画

月		月	
4	・オリエンテーション ・整列	8	・バレーボール
		9	基礎練習（パス、サーブ、スパイク） ゲーム
5	・柔軟、補強運動 ・スポーツテスト		・選択種目（屋外）
		10	サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ
6	・陸上競技 短距離走 砲丸投げ 走り幅跳び 走り高跳び (基礎練習、記録測定)		・バスケットボール
		11	基礎練習（パス、ドリブル、シュート） ゲーム
7	・選択種目（屋外） サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ	12	・器械運動
		1	・スキー（年3回実施）
		2	スキー授業の無い日は引き続き器械運動を
		3	継続する。
備考 体調不良等で見学する場合であっても、運動着に確実に着替えて授業に参加すること。			

○評価

1. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいるか。
2. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っているか。
3. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習しているか。
4. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができるか。
5. 各種目の特性、ルールを理解しているか。

科目名	コース	学年	単位数
保健	S	2	1

○内容・授業の進め方

思春期から中高年期までの健康に関わることからや、それぞれのライフステージで必要になる保健・医療サービスの活用のしかたなどについて学習します。また、環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学習します。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション ・ 思春期と健康 ・ 性意識と性行動の選択 心身の変化、性意識の男女差や性行動の選択に及ぼす影響を理解する。	10	・ 大気汚染と健康 ・ 水質汚濁と健康 ・ 土壌汚染と健康 さまざまな汚染が、たがいに関連して起こる健康影響を考える。
5	・ 結婚生活と健康 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。	11	・ 健康被害の防止と環境対策 環境汚染を防ぐための取り組みを理解する。
6	・ 妊娠、出産と健康 ・ 家族計画と人工妊娠中絶 妊娠、出産の過程における健康課題と人工妊娠中絶の影響を理解する。	12	・ 環境衛生活動のしくみと働き ・ 食品衛生活動のしくみと働き ・ 食品と環境の保健と私たち ごみ処理の過程、食品の衛生管理について理解する。
7	・ 加齢と健康 ・ 高齢者のための社会的取り組み 加齢にともなう心身の変化を理解し、社会的な支援を考える。	1	・ 働くことと健康 ・ 労働災害・職業病と健康
8	・ 保健制度と保健サービスの活用 保健行政の役割としくみ	2	働く人の健康問題や健康管理の必要性について理解する。
9	・ 医療制度と医療費 ・ 医療機関と医療サービスの活用 医療保険のしくみを理解し、医療機関の選び方について考える。	3	・ 健康的な職業生活 職場の健康増進対策について理解する。
備考			

○評価

- ・ 意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・ 提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・ 授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科 目 名	コース	学 年	単位数
コミュニケーション 英語 I	S	2	3

○内容・授業の進め方

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的能力を養う。
- ・英検 3 級以上合格レベルを目標とする。

○学習計画

月		月	
4	Lesson1 High School Life at Home and Abroad	9	Lesson6 J.K.Rowling:Everyone Has Hidden Power
5	Lesson2 Giant Pandas:Everyone's Favorite	10	Lesson7 The Bicycle: An old Friend and a New Friend
6	Lesson3 Yanase Takashi: The Creator of Anpanman	11	Lesson8 From Child to Adult: When Do You Change?
7	Lesson4 The History of the Telephone	12	Lesson9 Food Miles:Where Does Our Food Come From?
8	まとめ	1	Lesson10 Logical Thinking:A Skill for World-class Players
		2	まとめ
		3	
備考 教科書 BIG DIPPER English Communication I 使用			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
英語表現Ⅱ	S	2	2

○内容・授業の進め方

- ・英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
- ・英検 3 級以上合格レベルを目標とする。

○学習計画

月		月	
4	PART2 Lesson 1 好き嫌い	10	Lesson 7~8 依頼・要請/許可
5	Lesson 2 勧誘・招待・期待	11	Lesson 9~10 原因・理由/感謝・喜び
6	Lesson 3 希望・欲求	12	Lesson 11~12 謝罪/同情・励まし
7	Lesson 4 計画・意図	1	Lesson 13~14 提案・助言/賛成・反対
8	Lesson 5~6 義務・必要/程度・譲歩/	2	Lesson 15~16 意見/予想・可能性
9		3	
備考 教科書 BIG DIPPER English Expression II 使用			

○評価

- ①授業への参加意欲 ②提出物 ③定期テスト・小テスト 以上を総合的に評価する。

科 目 名	コース	学 年	単位数
家庭総合	S	2	2

○ 内容・授業の進め方

- ・人の一生の日常生活に関わる知識と技術を総合的に学習し、実際の生活にいかせる能力と実践的な態度を身につけます。
- ・実験や実習の機会を多く設定することで、基礎的・基本的な技術の習得を目指します。
- ・新聞やインターネット等の時事情報を活用しながら、現代の家庭生活を取り巻く問題について考えていきます。

○学習計画

月		月	
4	【自分らしく生きる】 ・ライフステージと発達課題 ・男女共同参画社会を生きる ・青年期の自立	9	・衣服素材の種類 ・繊維の種類と特徴
5		10	・衣服素材の性能 ・衣服の購入と手入れ
6		11	・衣服製作（エプロン）
6	【家族とかかわって生きる】 ・変わる結婚 ・パートナーとのかかわり ・時代とともに変わる家族・家庭 ・家族と法律	12	・衣服リサイクル
7		1	【食生活をつくる】 ・食生活をみつめる
7	・民法改正への動き	2	・食品の栄養素と体の成分
8	【衣生活をつくる】 ・人と衣服のかかわり ・衣服の機能	3	・五大栄養素とその食品 （炭水化物、脂質、たんぱく質、無機質、ビタミン）
備考			

○評価

- ・定期テストを実施する。
- ・学習への参加状況や態度、基礎技術の習得の様子は授業を通して評価する。
- ・ノート、プリントを定期的に提出させ、点検する。
- ・被服製作の作品は必ず提出させ、点検する。

科目名	コース	学年	単位数
アプリケーションⅡ	S	2	2

○内容・授業の進め方

- ・Microsoft Office Specialist (Word)試験の合格を目指す。
- ・実習・実践を通して、Wordの利用方法をマスターする。

○学習計画

月		月	
4	【Word 演習】 ◎段落と書式の設定 ①書式の設定 ②段落の設定 ◎ページ設定と印刷 ①ページ設定 ②印刷 ◎オブジェクトの挿入と効果の設定 ①図の挿入 ②効果の設定 ③テキストボックスの設定 ④表の設定 ⑤SmartArt の設定	8	【Word 演習】 ◎差込印刷の利用 ◎文書校正と検索・置換 ①文書校正 ②検索 ③置換 ◎問題演習 検定本番
5		10	
6		11	
7		12	
		1	
		2	
		3	
備考 ・Microsoft Office Specialist 試験対策を行い、全員が受験する ・8時間～10時間毎に小テストを実施			

○評価

- ・実技試験 (80%) + 授業態度・提出物 (20%) とする
 実技試験 (80%) → 制作物の完成度・正確性より評価
 ・・・技能・表現 (30%) + 思考・判断 (20%) + 知識・理解 (30%)
 授業態度・提出物 (20%) → 発言・提出物・出欠状況・その他より評価
 ・・・関心・意欲・態度 (10%) + 技能・表現 (10%)
- ・Microsoft Office Specialist 試験の結果を評価に含める

科目名	コース	学年	単位数
Web デザイン	S	2	1

○内容・授業の進め方

各種ソフトウェアを用いて、Web やプレゼンテーションで活用できる静止画や動画の加工・作成技術を身に付ける。

○学習計画

月		月	
4	【静止画編集】 ピクトグラムの作成	9	【動画編集】 動画の形式と特徴 動画の取り込み 動画の切り取りと結合 音楽の挿入 文字の挿入
5	静止画の形式と特徴 レイヤーを活用した静止画像の作成	10	演習（動画作成）
6	演習（パンフレット作成）	12	総合演習
7	↓	1	↓
8	↓	2	↓
		3	↓
備考 Adobe Photoshop Elements・Premiere Element 使用			

○評価

- ・実技試験（80%）＋ 授業態度・提出物（20%）とする
 - 実技試験（80%）→ 制作物の完成度・正確性より評価
 - ・・・技能・表現（30%）＋ 思考・判断（20%）＋ 知識・理解（30%）
 - 授業態度・提出物（20%）→ 発言・提出物・出欠状況・その他より評価
 - ・・・関心・意欲・態度（10%）＋ 技能・表現（10%）
- ・ルーブリック評価を導入する

○普通科 T コース

1. コース目標

「自分をみつけ、自分を育てよう」

2. 学習目標

- (1) 社会で大切な物事を知る
- (2) 基礎学力をしっかり身につける
- (3) 様々な体験活動を通し自分を見つける
- (4) 資格取得に挑戦し、将来に生かす

3. 3年間の授業の流れ

【第1学年】

クリエイティブタイム 3単位

- 1) 体験活動を通し、視野を広げ自己を見つめる。
- 2) 地域の方々との関わり合いの中から好ましい人間関係を学び、感謝する心や感動する心など豊かな人間性を身につける。
- 3) 高校生としてのマナーを学ぶ。
- 4) 社会で大切な物事を知る。
聞く・挨拶・返事、多くの大人と具体的活動の中で公的にふれ合う。

【第2学年】

クリエイティブタイム 3単位

- 1) 体験活動を通し、視野を広げ自己を見つめる。
- 2) 地域の方々との関わり合いの中から好ましい人間関係を学び、感謝する心や感動する心など豊かな人間性を身につける。
- 3) 秘書検定に向けた学習を通して、社会で必要なマナーや知識を身につける。
- 4) 社会に自らアプローチする力をつける。
目上の方の指示を受け、内容を共に取り組む者にしっかり伝えて教えたり発表する。

【第3学年】

クリエイティブタイム 3単位

- 1) 体験活動を通し、視野を広げ自己を見つめる。
- 2) 地域の方々との関わり合いの中から好ましい人間関係を学び、感謝する心や感動する心など豊かな人間性を身につける。
- 3) 進路に関するマナーを実践。
- 4) 社会に自らアプローチする。
学んだ事を実践し、積極的に伝え・教え・発表できる。

4. その他

ウオーキングチャレンジ（ポップウオーク） 1年次

研修旅行 2年次

科目名	コース	学 年	単位数
現代文 B	T	2	2

○内容・授業の進め方

- ・文学作品の中に流れる、筆者の意図を理解したり、登場人物の心情をとらえたりする学習に力を入れる。
- ・プリント等を使って理解を深める。
- ・小テストで学習の定着を図る。

○ 学習計画

月		月	
4	○随想 ・筆者のものの見方・感じ方をつかむ ・説明の仕方について理解する。	10	○詩や短歌 ・詩に描かれた世界を読み味わい、独自の表現の魅力を学ぶ。
5	・漢字小テスト。	11	・自然や人生を観照する、作者の個性的な感性を理解する。
6	○小説 ・情景や心理描写を的確に読み取る。 ・小説の登場人物に自分を重ねながら、読み楽しみを味わう。	12	○地域で生きる人々の生活を記録する ・そこにしかない暮らしを書きとどめる。
7	・登場人物の感情を正しく理解し豊かな心を養う。 ・漢字小テスト。	1	○小説 ・小説を読むことを通して、自分とは何か、人間とは何かについて考えを深める。
8	○評論	2	・優れた小説が、構成の面と表現の面でどのように工夫されているのかを学ぶ。
9	・筆者の考え方を正しく理解する。 ・論理的な思考力を養う。 ・漢字小テスト。	3	・漢字小テスト。
備考 基本的な漢字学習は問題集や教科書を使い小テストを実施。			

○評価

定期試験のほか、小テストや提出物・授業態度等を点数化し総合的に評価する。

科目名	コース	学年	単位数
古典 A	T	2	2

○内容・授業の進め方

- ・自分の感じたことや考えたことを的確にまとめ、自らの言葉で表現する力を高めます。
- ・古典（古文）を学ぶ中で、内容を正確に理解するための基本的な知識を身につけます。
- ・入試に向けての基礎学力の徹底を目指します。

○学習計画

月		月	
4	古文入門 説話 ・予習の仕方を学ぶ。 ・国語辞典の使い方を知る。 ・古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を理解する。	8	物語
5	随筆 ・古文の音読をする。	9	「平家物語」 「源氏物語」 ・身近な事柄から発想し、歴史上の人物、出来事がどのように語られているかを読み取る。
6	「枕草子」「方丈記」「徒然草」 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・古文の表現に慣れ、内容を理解する力を養う。	10	・軍記を読み、登場人物が戦乱の世にどのように生きたかを読み取る。 ・軍記の表現上の特色を理解する。
7	・国語辞典を引きながら現代語訳ができるようになる。 ・用言（動詞）の活用を学ぶ。 ・登場人物の心情や行動について考える。 ・表現方法に親しみ、趣を感じ取る ・古典のものの見方や感じ方を知る。	11	日記 「更級日記」 ・古人のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間の生き方について思い巡らす。
		12	漢文 「鴻門の会」「項王の最期」「竹里館」 ・漢文特有のリズムや表現の美しさを味わう。 ・古代中国の思想や、歴史書に描かれた人物の生き方を通して、人間のあり方についての考えを深める。
		1	
		2	
		3	
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・日常の取り組み
- ・漢字や題材に対する小テスト・提出物
- ・单元ごとの確認小テスト

科目名	コース	学年	単位数
クリエイティブタイム	T	2	3

○ 内容・授業の進め方

目 標

- (1) 体験活動を通し、視野を広げ、自己を見つめる。
- (2) 地域の方々との関わり合いの中から好ましい人間関係を学び、感謝する心や感動する心など豊かな人間性を身につける。
- (3) 資格取得に挑戦し、過程を大切にしながら、進路を選択する一助とする。

1 体験活動（5月～12月にかけて）

- ①工芸制作体験 ②自然の恵体験 ③ 子ども文化体験 ④郷土文化体験
 発表会 12月9日（土）

2 マナー学習とライセンスチャレンジ

- ・ 1年次 マナー学習・高校生のマナー
- ・ 2年次 秘書検定に向けた学習
- ・ 3年次 秘書検定（6月受検）

○学習計画

月		月	
4	マナー学習	10	体験活動
5	体験活動	11	体験活動
6	体験活動	12	体験活動
7	体験活動	1	秘書検定対策
8	体験活動	2	秘書検定対策
9	体験活動	3	秘書検定対策
備考			

科目名	コース	学 年	単位数
現代社会	T	2	2

○ 内容・授業の進め方

21世紀の今、現代の問題を一人一人が見つめて、問題と自己との関わり、本質をしっかりと追求して、今「自分は何が出来るか、どのように生きていくことが出来るか」を考えます。基本的な知識を身につけることで考察の範囲を広げて、先人たちの生き方を学びましょう。

○学習計画

月		月	
4	第3章 「民主社会と倫理」	10	第2編『現代社会の在り方と私たちの生き方』 第1章
5	・国家と国民との関係	11	「現代の社会生活と青年」 (現代社会の特質と私たちの生活)
6	第4章 「現代の民主政治」 (民主政治の基本原則)	12	・少子高齢化社会 ・情報化社会の現状と問題点 (現代の経済生活と経済活動)
7	・基本的人権と憲法 ・日本の平和主義	1	・技術革新と産業構造の変化第5章 「国際社会と日本の役割」 (国際社会の動向)
8	第1編『現代に生きる私達の課題』 ・地球環境問題・エネルギー・資源問題	2	・経済体制と冷戦
9	・生命問題・宗教について ・豊かさについて	3	・核兵器問題 ・貿易拡大、貿易摩擦
備考 長期休み(夏・冬・春)の際には時事的な問題にも目を向けるための課題を出して、現代に生きる人間としての視野を広げたい。 18歳からの選挙権に対して、政治への関心を深めながら学習を1学期進めていく。			

○評価

1. 基礎・基本的事項の定着度を定期テスト、小テストを使って図る。
2. 授業に積極的に取り組み、他人の意見を聞きながら、自分の考えを発信することができるか
3. 定期テスト・小テスト

以上を総合評価する

科目名	コース	学年	単位数
数学 I	T	2	3

○内容・授業の進め方

- ・一つの事項に時間をかけ、基礎の理解に重点を置く。
- ・单元ごとに確認テストを行う。
- ・課題等を用いて、1年次の復習を継続して行う。

○学習計画

月		月	
4	1年の復習	11	「図形と計量」 鋭角の三角比
5	1次関数、1次不等式		・タンジェント ・サイン・コサイン
6	「2次関数」 2次関数とそのグラフ	12	・三角比の応用 ・三角比の相互関係
7	・関数 ・2次関数とそのグラフ	1	三角比の拡張 ・三角比と座標
8	2次関数の値の変化		・三角比の相互関係
9	・2次関数の最大値・最小値		図形の計量
	・2次関数のグラフと2次方程式	2	・三角形の面積
10	・2次関数のグラフと2次不等式		・正弦定理 ・余弦定理
		3	・空間図形と三角比 ・図形の計量
備考			

○評価

- ・定期試験
- ・課題の提出状況、確認テスト
- ・授業に対する意欲

科目名	コース	学年	単位数
化学基礎	T	2	3

○内容・授業の進め方

1. 「物質の構成」では原子の構造及び電子配置と周期律の関係を学ぶ。また、化学結合と物質の性質との関係を学び、物質の成り立ち等についてイメージできるようになる。
2. 「物質の変化」では化学反応の量的関係、化学反応に関する基本的概念や法則を学ぶと共に、それらを日常生活や社会と関連付けて考察する。
3. 実験を通して化学を身近に感じるとともに、化学に関心を持てるようにする。また、実験結果をまとめることができる力を養う。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション 1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	9	2編 物質の変化 1章 物質と化学反応式 ①原子量・分子量・式量
5	①物質の成分 ②物質の構成元素 ③物質の三態	10	②物質量 ③溶液の濃度 ④化学反応式とその量的関係
6	2章 原子の構造と元素の周期表 ①原子の構造 ②電子配置と周期表	11	2章 酸と塩基 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度と pH
7	3章 化学結合 ①イオンとイオン結合 ②分子と共有結合	12	③中和反応と塩 ④中和滴定
8	③金属と金属結合	1	3章 酸化と還元反応 ①酸化と還元
9		2	②酸化剤と還元剤
		3	
備考			

○評価

1. 意欲態度・・・話の聴き方、発言、課題への取り組み方、実験へと取り組み
2. 授業内容の定着・・・定期テスト
3. 思考力判断力・・・授業で学んだことを利用して問題を解くことができる
実験結果をまとめることができる。

科目名	コース	学年	単位数
体育	T	2	2

○内容・授業の進め方

生徒同士が協力し、個人やチームの課題を解決出来るようにする。また、スポーツの特性を理解し、ルールを学んだうえで練習し試合まで行う。

○学習計画

月		月	
4	・オリエンテーション ・整列	8	・バレーボール
		9	基礎練習（パス、サーブ、スパイク） ゲーム
5	・柔軟、補強運動 ・スポーツテスト		・選択種目（屋外）
		10	サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ
6	・陸上競技 短距離走 砲丸投げ 走り幅跳び 走り高跳び （基礎練習、記録測定）		・バスケットボール
		11	基礎練習（パス、ドリブル、シュート） ゲーム
7	・選択種目（屋外） サッカー、ソフトテニス ソフトボール、グラウンドゴルフ	12	・器械運動
		1	・スキー（年3回実施）
		2	スキー授業の無い日は引き続き器械運動
		3	を継続する。
備考			
体調不良等で見学する場合であっても、運動着に確実に着替えて授業に来るようにする。			

○評価

1. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいるか。
2. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っている。
3. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習しているか。
4. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができる。
5. 各種目の特性、ルールを理解しているか。

科目名	コース	学年	単位数
保健	T	2	1

○内容・授業の進め方

思春期から中高年期までの健康に関わることからや、それぞれのライフステージで必要になる保健・医療サービスの活用のしかたなどについて学習します。また、環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学習します。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 心身の変化、性意識の男女差や性行動の選択に及ぼす影響を理解する。	10	・大気汚染と健康 ・水質汚濁と健康 ・土壌汚染と健康 さまざまな汚染が、たがいに関連して起こる健康影響を考える。
5	・結婚生活と健康 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。	11	・健康被害の防止と環境対策 環境汚染を防ぐための取り組みを理解する。
6	・妊娠、出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 妊娠、出産の過程における健康課題と人工妊娠中絶の影響を理解する。	12	・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち ごみ処理の過程、食品の衛生管理について理解する。
7	・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取り組み 加齢にともなう心身の変化を理解し、社会的な支援を考える。	1	・働くことと健康 ・労働災害・職業病と健康 働く人の健康問題や健康管理の必要性について理解する。
8	・保健制度と保健サービスの活用 保健行政の役割としくみ	2	・健康的な職業生活 職場の健康増進対策について理解する。
9	・医療制度と医療費 ・医療機関と医療サービスの活用 医療保険のしくみを理解し、医療機関の選び方について考える。	3	
備考			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表、態度)
- ・提出物が出されているか。(ノート、プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト)

科目名	コース	学年	単位数
芸術(音楽表現)	T	2	2

○内容・授業の進め方

- ・歌うこと・楽器に親しむこと・アンサンブルで生徒同士の交流を深めながら音楽に広く親しむという「活動」を中心に授業を進める。
- ・楽典による音楽の基礎学習や音楽鑑賞し、言葉で伝えられる。
- ・演奏・発表する力を磨き、各学期演奏の目標を学習しながら、言葉で感じたことを表す。
達成目標：様々な表現活動を楽しみながら、発表力を持つ。創作を通し、作品の鑑賞力を高める。

○学習計画

月		月	
4	オリエンテーション リトミック	8	コンサートを企画しよう2
5	自分たちでコンサートを企画しよう 楽器：ハンドベル	9	
6	ギターでコードを学ぼう ドラムを体験	10	
7	ミュージカル映画鑑賞 (レ・ミゼラブル) 期末試験	11	日本の楽器に挑戦
		12	楽器：箏 期末試験
		1	みんなで1つの曲を合奏しよう
		2	
		3	コンサート本番
			学年末試験
			期末試験
備考			

○評価

定期試験で学習確認テストをします。(50%) 実技や発表会の態度・意欲表現を(50%) 評価します。更に、日常の学習の積極的参加・教科書等授業の準備物・提出物の期限内提出を平常点として評価します。

発表・演奏内容：一学期：リズムテスト

二学期：アンサンブル発表

三学期：ミニコンサート

定期テスト (50%) 1) 関心・意欲・態度 2) 思考・判断 4) 知識・理解

演奏・発表 (50%) 1) 関心・意欲・態度 2) 思考・判断 3) 技能・表現

科目名	コース	学年	単位数
芸術(美術表現)	T	2	2

○内容・授業の進め方

コンピュータを使った CG の基礎とグラフィックデザインにおける画像処理の役割とフォントのデザイン (タイポグラフィ) 木工芸品制作

○学習計画

月		月)
4	ネットワーク上のファイル操作	9	木工芸制作
	タイポグラフィ制作	10	↑
5		11	↑
6	ロゴマーク制作	12	↓
7	キャラクターデザイン	1	イラストレーション演習
		2	↑
8		3	↓
備考			

○評価

評価基準全体 (課題制作・定期テスト)

- 1) 関心・意欲・態度 (25%)
- 2) 思考・判断 (25%)
- 3) 技能・表現 (25%)
- 4) 知識・理解 (25%)

評価基準内訳 (上記項目 1~4) の

定期テスト (40%) 1) 10% 2) 15% 3) 25%

課題制作 (60%) 1) 15% 2) 10% 3) 25%

科目名	コース	学年	単位数
芸術（書道表現）	T	2	2

○内容・授業の進め方

- ・楷書の筆遣いを学び、点画の輪郭を観察し、複雑な細かい表現を身につけ、構成する文字の美しさを探る。自己表現出来るように配慮する。

○学習計画

月		月	
4	葉書作品「春」 名刺作成	12	クリスマスカード作成
5	↑↓	1	書き初め
6	漢字仮名交じり作品	2	実用的な書
7	↑↓	3	↑↓
8			
9	毛筆書写検定練習		
10	↑↓		
11			

○評価

- ・意欲的に課題に取り組んでいるか。（書く姿勢や練習枚数）
- ・古典作品に興味を持ち、特徴を理解して表現しているか。
- ・課題作品をきちんと提出しているか。

評価基準 定期試験（40％） 作品（60％）

科目名	コース	学年	単位数
コミュニケーション 英語 I	T	2	3

○内容・授業の進め方

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的能力を養う。また、様々な話題に触れ、そこから考えたことや得た知識、感じたことなどを自分の言葉で表現する。

○学習計画

月		月	
4	Introduction, Get Ready! Lesson1 Why Do You Study English? (現在形・過去形)	10	Lesson6 Flying Wheelchairs (現在完了形)
5	Lesson2 Washoku: Our Traditional Food (助動詞)	11	Lesson7 Moving As One (受け身)
6	Lesson3 What Should I Do? (進行形)	12	Lesson8 Convenience Stores: the Keys to Their Success (分詞)
7	復習・表現活動・Speaking Test	1	Lesson9 Malala Yousafzai: Education Can Change the World (比較)
8	Lesson4 My School, Your School (不定詞)	2	Lesson10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles (関係代名詞)
9	Lesson5 Peace, the Polar Bear (動名詞)	3	復習・表現活動・Speaking Test
備考 使用教科書：COMET English Communication I (数研出版), キクタン Entry (アルク)			

○評価

- ・意欲的に学習に取り組んでいるか。(発表・態度・SpeakingTest)
- ・提出物が出されているか。(プリント)
- ・授業での学習が理解できているか。(定期テスト・小テスト・SpeakingTest)

科目名	コース	学年	単位数
英語会話	T	2	2

○内容・授業の進め方

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。

○学習計画

月		月	
4	Lesson1 Nice to Meet You	8	
		9	Lesson6 Are You All Right?
		10	
5	Lesson 2 Hello, Friends!	11	Lesson7 Talking about Our Town
		12	
	Lesson3 My Favorite Music	1	Lesson8 Traditional Culture
6	Lesson4 What Are You Crazy about?	2	
		3	総まとめ
7	Lesson5 A Friendly Potluck Dinner		
備考 使用教科書：Hello there! English Conversation(東京書籍)			

○評価

- ・積極的に活動に取り組んでいるかどうか。
- ・提出物を出しているかどうか。
- ・定期テスト・確認テストの結果。

科 目 名	コース	学 年	単位数
家庭総合	T	2	2

○内容・授業の進め方

人の一生の日常生活に関わる知識と技術を総合的に学習し、実際の生活にいかせる能力と実践的な態度を身につけます。

実験や実習の機会を多く設定することで、基礎的・基本的な技術の習得を目指します。

新聞やインターネット等の時事情報を活用しながら、現代の家庭生活を取り巻く問題について考えていきます。

○学習計画

月		月	
4	【自分らしく生きる】 ・ライフステージと発達課題	9	・衣服素材の種類 ・繊維の種類と特徴
5	・男女共同参画社会を生きる ・青年期の自立	10	・衣服素材の性能 ・衣服の購入と手入れ
6	【家族とかがわって生きる】 ・変わる結婚 ・パートナーとのかかわり ・時代とともに変わる家族・家庭 ・家族と法律 ・民法改正への動き	11	・衣服製作（エプロン） ・衣服リサイクル
7	【衣生活をつくる】 ・人と衣服のかかわり	12	【食生活をつくる】 ・食生活をみつめる ・食品の栄養素と体の成分
8	・衣服の機能	1	・五大栄養素とその食品
		2	
		3	(炭水化物、脂質、たんぱく質、無機質、ビタミン)
備考			

○評価

- ・定期テストを実施する。
- ・学習への参加状況や態度、基礎技術の習得の様子は授業を通して評価する。
- ・ノート、プリントを定期的に提出させ、点検する。
- ・被服製作の作品は必ず提出させ、点検する。